

登録コード	ASE03630	開講年度	2026																													
授業科目	特別研究				担当教員	河原 岳志																										
英文授業名	Spacial Research				副担当																											
単位数	10	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	修士2年																								
講義室				授業形態	演習	備考																										
信大コンピテンシー	該当																															
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】																										
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ																															
	【専攻】生命科学, 食品科学, 食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。				⇔																											
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。				⇔																											
授業の概要	食品の機能性に関する研究に期間を通じて取り組みます。得られた成果については, 1年後に学内での中間発表会で発表を行うとともに, 最終的に修士論文発表会で発表を行い修士論文として提出します。 研究室所属後の一定期間は, 研究の遂行に必要な知識や基礎技術の修得に努めます。その後, 教員との話し合いにより研究テーマが決定します。 現在、研究テーマとして取り扱っているのは以下のようなものです。 (1) 皮膚角化細胞を介して発現する食品の機能性評価 (2) 生体の微生物応答を制御する食品の機能性評価 (3) ウイルス感染抑制作用をもつ食品機能性評価 テーマ決定後は, 大まかな実験計画に基づいて各自で取り組んでいきます。得られた結果は教員とディスカッションし, 確認を行いながら目標の達成に向けて取り組んでいきます。																															
Contents:	This lecture subjects the research on functionality of food components. Student who take the course is required to make a presentation about own research and submit master's thesis.																															
授業計画	学部からの進学者は, 学部で行った研究を発展させる方向性で教員との話し合いにより研究テーマを決定します。 また大学院からの入学者は, 以下の計画のもとで研究室所属後の一定期間は研究の遂行に必要な知識や基礎技術の修得に努めます。 第1回 研究室で行われる研究の背景の理解 第2回 特別研究で扱う研究テーマの新規性について 第3回 研究技術の取得 第4回 得られた研究結果の取りまとめ 第5回 得られた研究結果の再現性の確認 第6回 得られた研究結果をもとに教員とのディスカッション 第7回 中間発表に向けた研究成果の取りまとめ 第8回 中間発表に向けた教員とのディスカッション 第9回 指摘事項をもとにした教員とのディスカッション 第10回 学会発表に向けた研究成果の取りまとめ 第11回 学会発表に向けた教員とのディスカッション 第12回 修士論文作成に向けた研究成果の取りまとめ 第13回 修士論文の作成 第14回 修士論文発表に向けた教員とのディスカッション 第15回 修士論文での最終的な取りまとめと提出																															
成績評価の方法	研究期間を通じて教員と行ったディスカッションとそれに基づいた研究の遂行と専攻研究論文の作成状況を, それを証明する実験ノートの提出により確認のうえ点数化して評価を行います。																															
成績評価の基準	成績評価の基準は以下のとおりです。 <table><tr><td>評価</td><td>略号</td><td>点数</td><td></td></tr><tr><td>秀</td><td>S</td><td>90-100</td><td>研究に対する理解と実績が卓越した水準にある</td></tr><tr><td>優</td><td>A</td><td>80-89</td><td>研究に対する理解と実績が優れている</td></tr><tr><td>良</td><td>B</td><td>70-79</td><td>研究に対する理解と実績がそれなりにある</td></tr><tr><td>可</td><td>C</td><td>60-69</td><td>研究に対する理解と実績に課題が多く残る</td></tr><tr><td>不可</td><td>D</td><td>59以下</td><td>研究に対する理解と実績が明らかに不足している</td></tr></table>								評価	略号	点数		秀	S	90-100	研究に対する理解と実績が卓越した水準にある	優	A	80-89	研究に対する理解と実績が優れている	良	B	70-79	研究に対する理解と実績がそれなりにある	可	C	60-69	研究に対する理解と実績に課題が多く残る	不可	D	59以下	研究に対する理解と実績が明らかに不足している
評価	略号	点数																														
秀	S	90-100	研究に対する理解と実績が卓越した水準にある																													
優	A	80-89	研究に対する理解と実績が優れている																													
良	B	70-79	研究に対する理解と実績がそれなりにある																													
可	C	60-69	研究に対する理解と実績に課題が多く残る																													
不可	D	59以下	研究に対する理解と実績が明らかに不足している																													
事前事後学習の内容	研究テーマは個人で異なるため、自身の研究に取り組み得られた結果を考察するうえで、関連する論文や文献から必要な知識を事前事後学習により得る必要がある。																															
履修上の注意	本講義は他の講義と異なり, 期間中は各個人が実験スケジュールを組み立てて実験を行います。自由度の高い取り組みが可能です, 自己管理が強く求められます。 また研究の遂行に当たっては, 学生と教員との間のディスカッションを行いながら進めていく課程を重視しますので, 単に実験だけ行っていればいいというわけではありません。																															

質問,相談への対応	担当教員の居室（C406）で随時応じます。
学生へのメッセージ	特にありません。
【教科書】	特にありません。必要な書籍を自分で探すことも課題の一つです。
【参考書】	基本的に研究テーマに応じて必要な図書館やインターネットを活用して探します。研究遂行のうえで重要度な内容を含むものに関しては、教員から提供します。